



# 日東紡グループ 2016年度 第2四半期 決算説明会

## 本資料の取り扱いに関する注意事項

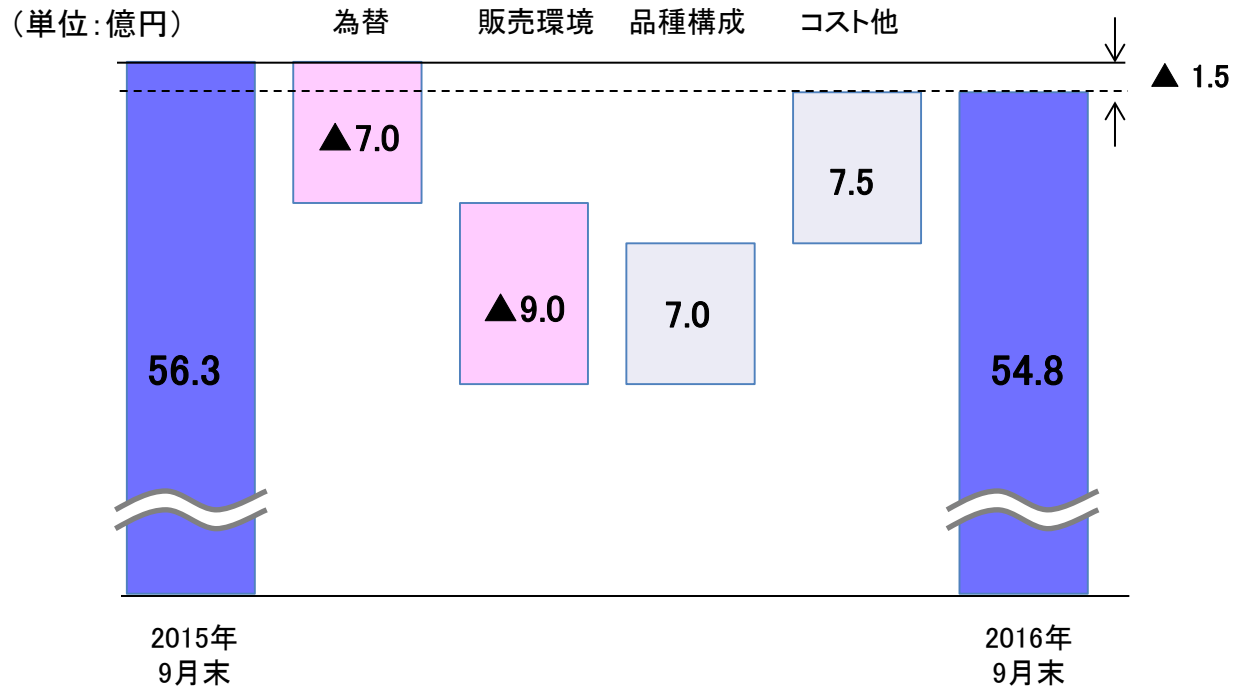
本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。

## 業績概要（連結決算） ①PL・CF

（単位：億円）

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減	2016年度 第2四半期 (8月3日公表)
売上高	438.0	408.9	▲29.1	440
営業利益 (%)	56.3 (12.9%)	54.8 (13.4%)	▲1.5 (0.5%)	47 (10.7%)
経常利益 (%)	57.0 (13.0%)	52.8 (12.9%)	▲4.2 (0.1%)	47 (10.7%)
特別損益	▲13.3	▲0.5	12.8	-
親会社株主帰属 当期純利益	26.8	36.3	9.5	27.0
営業キャッシュフロー	88.8	53.0	▲35.8	-

# 営業利益 対前年同期比 増減



	2015年度 上半期	2016年度 上半期	差
為替 [円/米ドル]	121.76	107.31	14.45 円高
ドバイ原油 [米ドル/バレル]	78.8	41.3	37.5 原油安

## 業績概要（連結決算）②BS

（単位：億円）

	2016年3月末	2016年9月末	増減
総資産	1,427	1,384	▲43
純資産 （利益剰余金）	754 (354)	732 (379)	▲22 (25)
NET有利子負債	147	119	▲28
自己資本比率	52.3%	52.2%	▲0.1%





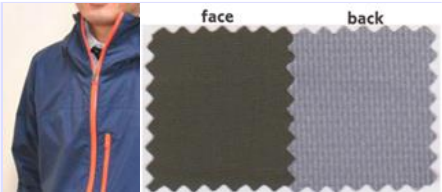
# 事業セグメント別業績

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期		2016年度 第2四半期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維	27.1	▲2.1	25.0	▲2.3	▲2.1	▲0.2
原繊維材	139.4	22.7	115.5	21.9	▲23.9	▲0.8
機能材	89.7	13.9	86.9	13.3	▲2.8	▲0.6
設備材	104.6	6.8	104.8	9.3	0.2	2.5
環境・ヘルス	67.8	16.5	67.6	17.2	▲0.2	0.7
その他	9.5	0.7	9.1	0.9	▲0.4	0.2
調整額	-	▲2.2	-	▲5.6	-	▲3.4
計 (利益率)	438.1	56.3 (12.9%)	408.9	54.8 (13.4%)	▲29.2	▲1.6 (0.5%)

# 繊維事業 (1)

# セグメントの説明(主要製品等)

事業	主な製品形態	特徴	製品写真
原糸	C・S・Y (コアスパンヤーン)	ポリウレタン等の長繊維に綿等の短繊維を巻き付けてカバーした製品。ストレッチ素材の先駆け。多層構造糸製造技術によりコアとカバー素材を組み合わせ、吸湿発熱・速乾冷感・軽量等の機能と肌触感を合わせた商品を提案。	
	ふきん	吸水性・即乾性に優れ、毛羽が付きにくい。暮らしの手帖社との開発から50年を超えるロングセラー商品。 2015年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞受賞。	
芯地	芯地	衣服の保形や寸法安定性を付与するために表地の裏面に貼る隠れた機能素材。表地の素材感を活かし、シルエットを美しく演出。婦人用では国内シェアNo.1。	
	接着テープ	芯地を貼りにくい衿・袖・ポケットなどの接合部分の補強、縫製時の作業性向上などに使用される。あらゆる形状に対応し、表地素材と同一素材のラインナップをもつ。	
	裏材(裏地)	日東紡が得意とする極薄織物接着技術を応用、裏地としての使用も可能としている。採用例として透湿防水フィルムをラミネートしたスポーツ衣料素材があげられる。	

## 繊維事業（2）

主力の芯地販売が日本国内、中国ローカル向け、中国からの輸出ともに低迷。  
「日東紡の新しいふきん」などの二次製品販売は好調に推移し、インターネット販売を開始する等、販路拡大に向けた取り組みを強化。

### ■ 芯地

国内：当社シェアの高い大手アパレル婦人服向け極薄芯地の数量が伸びず。

中国：日系向け・ローカル向け販売数量が減少し、輸出も伸長せず。

### ■ 原糸

暮しの手帖社と共同開発の「日東紡の新しいふきん」の販売が、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の効果もあり、好調に推移。

ニッポー新潟(株)の紡績糸を用いた今治認定の高級タオル「BELOVED PURE」のインターネット販売を開始。

（単位：億円）

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減
売上高	27.1	25.0	▲2.1
営業利益	▲2.1	▲2.3	▲0.2

# グラスファイバーのセグメンテーション

## セグメントの説明(主要製品等)

製品形態	特徴	製品写真	主な用途	事業セグメント
ロービング	ガラス繊維を撚りを加えずに束ねた製品		ユニットバス 浄化槽	原織材
チョップドストランド	ガラス繊維を細かく切断した製品		スマートフォン、PC等の 筐体	原織材
ヤーン	ガラス繊維に撚りを加えた製品		ガラスクロス	原織材
ガラスクロス	ヤーンをクロス状にした製品		プリント配線基板 制振材、テント膜 道路補強材	機能材 設備材 設備材
グラスウール	ガラス短繊維を綿状にした製品		住宅、非住宅	設備材



# 原織材事業

スマートフォン・タブレット向け当社高付加価値品の一時的な需要鈍化や、円高進行による輸入品との競争激化の影響で、強化プラスチック用途の販売が低迷。

お客様のニーズに対応したきめ細やかな営業活動に注力し、生産効率化、燃料コスト改善を推進。

円高の影響により競争が激化するも、原燃料価格の低下やコスト削減等により収益性が改善。

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減
売上高	139.4	115.5	▲23.9
営業利益 (利益率)	22.7 (16.3%)	21.9 (19.0%)	▲0.8 (2.7%)

# 機能材事業

海外メーカーとの競争が激化する中、高機能サーバーや基地局向け等の電子材料用途の需要に対応し、高付加価値品へのシフトをさらに推進。

円高により、海外向けの売上が減少するとともに海外メーカーとの競争も激化する中、生産の効率化を推進して原価削減に努め、前年並みの収益を確保。

スマートフォン市場は成長鈍化が見られるものの、低グレード品の高機能化の流れの中で、当社製品に底堅い需要があり、ゲーム機等の高機能画像処理用途も堅調に推移。

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減
売上高	89.7	86.9	▲2.8
営業利益 (利益率)	13.7 (15.3%)	13.3 (15.3%)	▲0.4 (0.0%)

# 設備材事業

産業資材向け製品の拡販、堅調な需要の戸建住宅用断熱材のシェア拡大や新規顧客開拓に注力。生産計画精度の向上による生産効率化や原価低減、原燃費の低下等により収益性が向上。

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減
売上高	104.6	104.8	0.2
営業利益 (利益率)	6.8 (6.5%)	9.3 (8.9%)	2.5 (2.4%)

## 環境・ヘルス事業 (1) セグメントの説明(主要製品等)

セグメント	特徴	製品写真	主な用途
メディカル	生化学系・血液学系・免疫血清学系の体外診断薬事業を展開。免疫系試薬や骨粗鬆マーカーに強み。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝機能、コレステロール、中性脂肪等の測定</li> <li>・炎症、自己免疫性疾患、栄養状態等の測定</li> </ul>
SC (スペシャリティ・ケミカルス)	特殊な重合技術を用いて新しいポリマー素材を開発し、金属捕集剤など様々な分野への用途開発を推進。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工用助剤</li> <li>・医薬品原料</li> <li>・水処理剤</li> <li>・製紙用助剤</li> <li>・消臭剤</li> <li>・ハードコート、表面保護剤</li> </ul>
飲料	清涼飲料水とペットボトルの生産。プライベートブランドを中心に多品種小ロット生産に強み。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶系飲料</li> <li>・スポーツドリンク</li> <li>・果汁入り飲料</li> <li>・ベビー飲料</li> <li>・大手スーパー</li> <li>・ドラッグストア</li> </ul>

## 環境・ヘルス事業（2）

免疫系診断薬を中心に国内での売上が安定的に推移し、スペシャリティケミカルス製品の海外向けの新規案件受注などに注力。飲料分野では、多品種小ロットの需要に対応。

### ■ メディカル

当社の強みである免疫系試薬・骨粗しょう症マーカー等を中心に新規顧客の獲得に注力、原価削減とあわせ、収益性の向上を図った。

### ■ スペシャリティケミカルス

電子材料関連用途等の堅調な国内需要に加え、海外向け医薬品原料用途の新規案件の受注に注力。

### ■ 飲料

西日本地域を中心とした猛暑等により売上が堅調に推移。レジン価格の低下による原価低減や多品種小ロットへの対応が、収益性の向上に寄与。

（単位：億円）

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減
売上高	67.8	67.6	▲0.2
営業利益 (利益率)	16.5 (24.3%)	17.2 (25.4%)	0.7 (1.1%)

# 2016年度 業績見通し (1)

為替レート US\$ 100円(前年実績120円) 原油価格 ドバイ US\$ 55.4(前年実績US\$ 68.0)

## 【繊維】

### ■芯地

- ・新商材であるIF(Innovative Fabric=防風機能裏材)が好評、サンプルワーク等の営業活動を強化。
- ・国内外で高付加価値品の提案営業をさらに強化。中国市場では販路拡大と輸出拡大に注力するとともに、さらなる原材料のコストダウンを追究。

### ■原糸

- ・高付加価値商品NewCSY(多層構造糸)のスポーツ用途、デニム・ボトムス向けの販売を強化。
- ・ロングセラー商品「日東紡の新しいふきん」の拡販、新商品の今治タオル「BELOVED PURE」の販路拡大を図る。

## 【グラスファイバー】

### ■原繊維材、機能材

- ・高付加価値品であるNEガラスの新溶融炉操業により、高性能通信用サーバー等の堅調な需要に対応。
- ・国内外生産拠点の高付加価値品シフトをさらに推進し、製品ミックスと製造プロセスの最適化を実現。

### ■設備材

- ・さらなる営業強化により戸建住宅向け断熱材のシェア拡大を追求。
- ・産業資材向け製品の海外を含めた大型案件の受注獲得に注力。

# 2016年度 業績見通し (1)

為替レート US\$ 100円(前年実績120円) 原油価格 ドバイ US\$ 55.4(前年実績US\$ 68.0)

## 【環境・ヘルス】

### ■メディカル

- ・国内は大口新規顧客向けに強みである免疫系試薬の営業を引き続き強化。
- ・海外では営業と研究開発による大手顧客へ対応を強化するとともに、新興国を中心とした新規顧客開拓に注力。

### ■SC

- ・営業体制を強化し、新規用途開発を含めた顧客ニーズに即応し、新興国の医薬品向の販売を強化。

### ■飲料

- ・第2四半期に上市した「機能性表示食品」対象商品を拡大し、ドラッグストア、総合スーパー等への提案営業に注力。野菜茶等の新カテゴリーの開発・提案を強化し、商品ラインナップの充実を図る。

## 2016年度 業績見通し (2)

(単位: 億円)

	2016年度予想 (修正前)			2016年度予想 (修正後)			(b)-(a)	2015年度 実績
	上期 (予想)	下期 (予想)	年間(a)	上期 (実績)	下期 (予想)	年間(b)		
売上高	440.0	450.0	890.0	408.9	421.1	830.0	▲ 60.0	862
繊維	▲ 1.5	0.5	▲ 1.0	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 2.5	▲ 1.5	▲ 5
原繊維材	20.0	22.0	42.0	21.9	23.1	45.0	3.0	48
機能材	11.0	11.0	22.0	13.3	13.7	27.0	5.0	30
設備材	8.0	13.0	21.0	9.3	11.7	21.0	0.0	18
環境・ヘルス	14.0	10.0	24.0	17.2	8.8	26.0	2.0	27
その他調整	▲ 4.5	▲ 3.5	▲ 8.0	▲ 4.7	▲ 3.8	▲ 8.5	▲ 0.5	▲ 9
営業利益	47.0	53.0	100.0	54.8	53.2	108.0	8.0	109
経常利益	47.0	53.0	100.0	52.8	52.2	105.0	5.0	110
親会社株主に帰属 する当期純利益	27.0	30.0	57.0	36.3	23.7	60.0	3.0	56



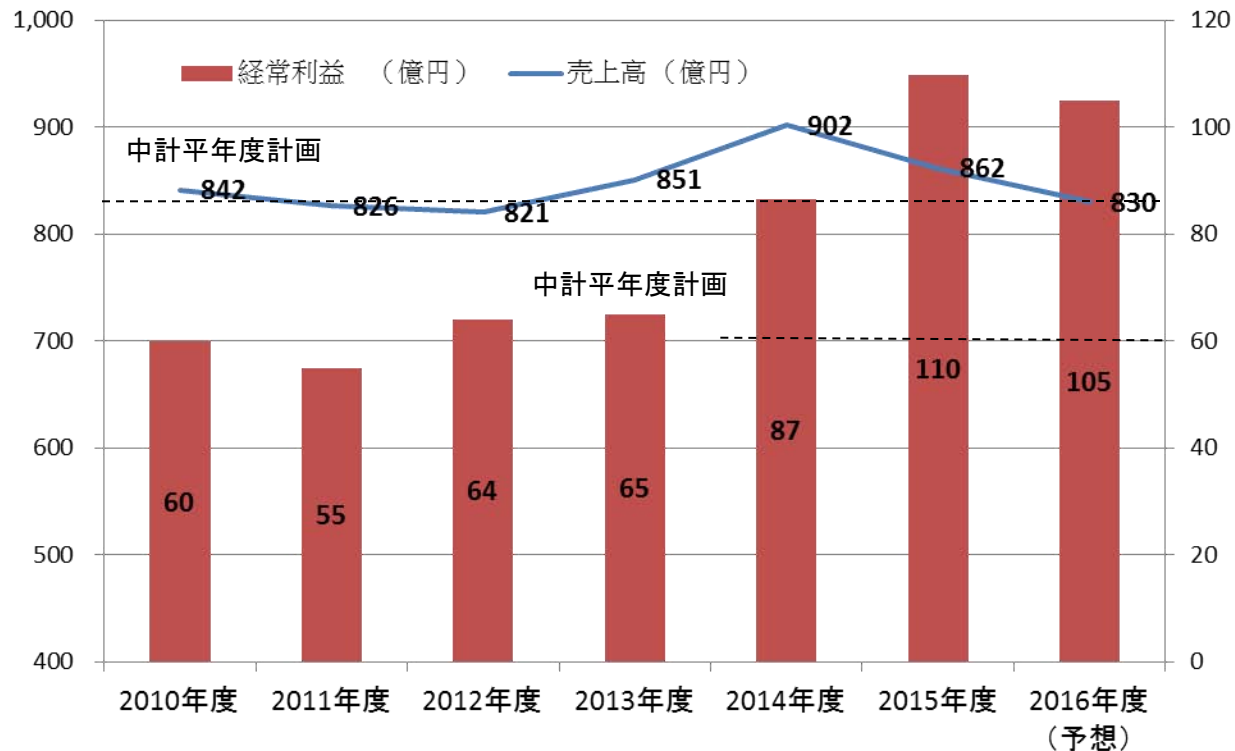
# 中期経営計画(2014～2016年度)の取り組み状況①

前中期経営計画(2010年～2013年)と今中計での取り組みにより、安定的に利益を確保できる一定の事業基盤を構築。

<収益>

売上高(左軸・億円)

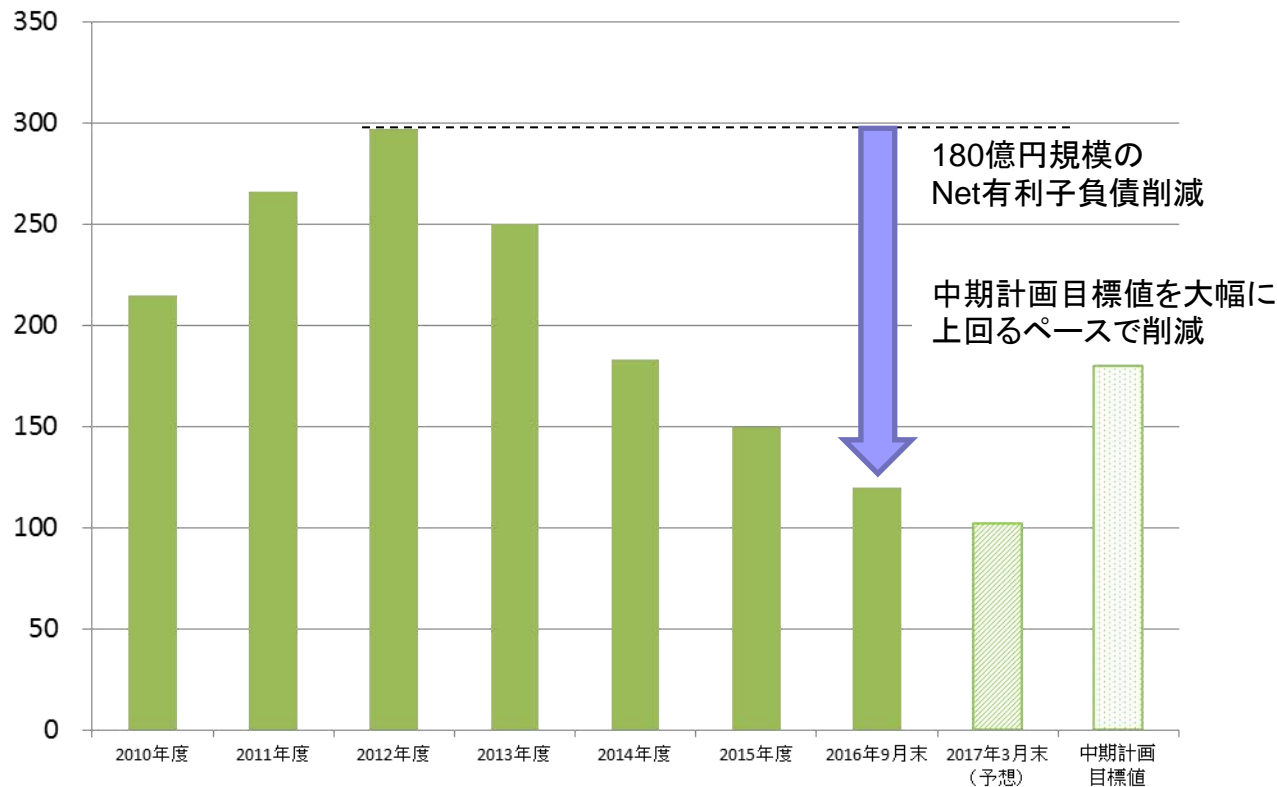
経常利益(右軸・億円) 推移



## 中期経営計画(2014~2016年度)の取り組み状況②

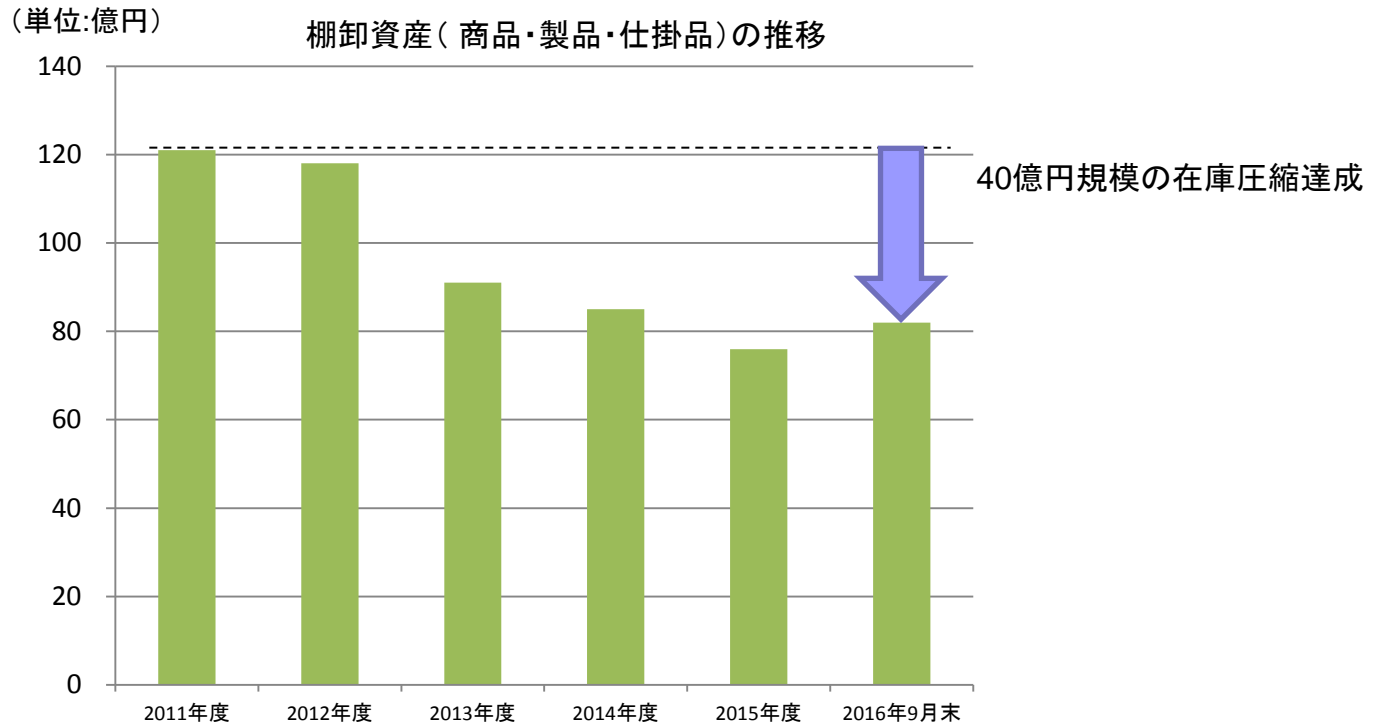
Net有利子負債を削減、自己資本比率向上等により財務格付BBB+を取得(2015年2月)。

Net有利子負債推移(億円)



# 中期経営計画(2014～2016年度)の取り組み状況③

- 資産圧縮、資金効率化に向け在庫圧縮に注力。



- 事業の選択と集中

台湾製造拠点の完全子会社化(2014年5月)  
 グループ警備事業、清掃事業の売却(2015年1月)  
 日東紡音響エンジニアリング(株)の売却(2015年4月)  
 日東病院の売却(2016年3月)

- BCP対応

自家発電設備導入(郡山)(2015年2月)

- ガバナンス強化

指名委員会等設置会社へ移行(2014年6月)  
 社外取締役2名⇒3名⇒4名(2014年6月、2015年6月)

# 財務・資本政策(11月2日公表済)

## 1. 中間配当の実施

今期3円／株の中間配当を実施。

期末配当予定3円／株と合わせ年間配当金を6円／株とする予定。

## 2. 金庫株の消却

2008年度・2009年度に取得した48百万株(時価161億円)を消却。

## 3. 自己株の取得

6百万株、25億円を上限に市場買付。

取得後は消却予定。

## 4. 今後の株主還元

財務体質強化と将来の安定的成長のための内部留保などを総合的に勘案し、安定的な配当の成長を基本方針とする。

時々の財政状況に応じて弾力的な株主還元を実施していく。

# 日東紡の成長戦略

## ■ 現在

- ・ 「日東紡グループ長期ビジョン」
  - ・ その1st Stepとしての「2017～ 中期経営計画」を検討中
- ⇒ 2017年2月～3月に公表予定

## ■ 検討の視点

- ・ 高付加価値化のさらなる追求
- ・ 海外展開
- ・ 資本効率の向上
- ・ 成長と株主還元バランス

## 主な財務データ推移

	146期	147期	148期	149期	150期	151期	152期	153期	154期	155期	156期予想
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
ROS (売上高営業利益率)	8.2%	7.5%	2.2%	2.5%	7.7%	7.2%	8.1%	7.6%	9.8%	12.6%	13.0%
ROA (総資産経常利益率)	7.1%	6.4%	1.6%	1.0%	4.7%	4.2%	4.9%	4.8%	6.1%	7.6%	7.5%
ROE (自己資本利益率)	6.7%	8.2%	-14.2%	2.5%	5.2%	2.6%	5.0%	6.3%	6.8%	7.6%	8.2%
自己資本比率	42.5%	47.3%	37.2%	41.2%	42.4%	42.0%	44.8%	45.9%	49.6%	52.3%	52.7%
ネット有利子負債 /営業CF倍率	1.4	0.5	11.5	28.4	1.9	5.7	4.8	2.1	1.2	0.9	0.9
1株当たり 当期純利益	18.7	24.0	-38.3	6.4	14.1	7.2	14.3	19.4	23.0	28.1	30.8
1株当たり 配当額	3.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
配当性向	16.1%	16.7%	-10.4%	62.6%	35.5%	69.5%	35.1%	25.8%	21.7%	21.4%	19.5%
総還元性向	16.7%	17.1%	-75.2%	※1 262.1%	※2 36.3%	70.5%	35.5%	26.6%	22.2%	21.5%	※3 61.4%

※1 自己株取得 33百万株 59.7億円

※2 自己株取得 14百万株 27.2億円

※3 自己株取得 6百万株 25億円(上限)

# 社会貢献活動

## ■福島マルシェ開催

9月17日に東京本部ビルで福島復興応援フェア「ふくしまマルシェ」を開催。

当イベントは福島県東京事務所と日東紡の共催で、会場には東日本大震災の復興からの歩みを記したパネルが掲示され、青果物や地酒等、福島の名産品が販売された。



## ■熊本地震支援

被災者支援や被災地の復興に役立てていただくため、以下の支援を実施。

- ・仮設住宅用断熱材 100棟分（パラマウント硝子工業株式会社のグラスウール製品）
- ・飲料水、緑茶 合計3万本（ニッソービバレッジ株式会社のペットボトル飲料）
- ・グループ義援金として500万円を拠出
- ・別途、役職員による募金活動を行い義援金として拠出